

【別紙】 令和4年度 学校 自己 評価 重点 目標 シート (川口市立 安行東中学校)

(A 4判帳)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	より賢く・より美しく・よりたくましく
目指す学校像	【夢や目標を実現する力を育てる安行東中学校】 ○感動あふれる学校 ○心身を鍛え、逞しく成長させる学校 ○保護者・地域から信頼される学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	6 名
事務局 (教職員)	2 名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (令 和 5 年 2 月 1 日 現 在)		
	年 度 目 標			重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
	現状と課題	重点目標	具体的方策			
組織運営	<p>学校教育目標の達成に向けて、教職員一人一人の学校運営への参画及び協働意識を高めるとともに、不登校生徒等への支援を組織的に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、コロナ禍における教育活動の充実を図っていく必要がある。</p>	<p>○学校教育目標の達成に向けた方向性について共通理解を図り、教職員一人一人の学校運営への参画及び協働意識を高める。</p> <p>□支援が必要な生徒の支援率100%、改善率を70%以上とする。</p> <p>△コロナ禍における安全安心な学校教育を継続するとともに、対応の効率化及び学びの保障とその充実を図る。</p>	<p>○学校教育目標の達成に向けた校務等の横断的な関わりなどをより明確にし、学校運営に関わる課題の発見と改善に向けて協働しながら教職員の校務に関する自己実現を図る。</p> <p>□より一層関係外部機関等との連携を進めるなど、生徒の実態に即した積極的かつ組織的な支援の継続と充実を図る。</p> <p>△生徒の安全安心を第一とし、随時、感染状況等の情報を収集しながら、対応策と教育活動の検討を行い、更新する。</p>	<p>○研修を通して道徳教育と学校教育目標の具現化に向けた関連付けの他、学校評価アンケートの素案をもとに「目指す生徒像」の体言化に向けて共通理解で取り組むことはできた。</p> <p>□生徒への支援率100%、不登校生徒の改善率40%。積極的な校長面談の実施をはじめ、個別に関係諸機関やS Cを精力的に活用し、生徒・保護者の支援を進めることはできた。</p> <p>△随時、状況に応じて新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて全職員で共通理解を図り、安全・安心な学校運営を協働的に進めることができた。</p>	B	年間2回の学校評価アンケートの実施等を通して、学校運営に関わる課題の発見と改善に向けて協働しながら教職員の校務に関する自己実現を図る。支援が必要な生徒への迅速かつ効果的な支援ができるように外部関係諸機関との連携を含めた支援策の可視化や学習支援体制の整備と充実を進める。今後のコロナ対応の在り方については国や県の動向に注視し、迅速に対応する。
教育課程	<p>生徒の基礎学力の定着や思考力・判断力・表現力の育成、低学力層の学習意欲の向上が急務になっている。また、持続可能な小中連携によるカリキュラムマネジメントの充実を図っていく必要がある。</p>	<p>○基礎学力の定着と学習意欲の向上をうながす授業改善の研究と実践を進める。</p> <p>□生徒一人一人に応じた学びの充実に向けた研究と実践を進める。</p> <p>△中・長期的なスパンでの小中連携の見直しを図る。</p>	<p>○計画的かつ短期的なスパンで学び直す機会を設定するほか、学習意欲の向上などについて継続的な研究と充実を図る。</p> <p>□不登校生徒を含め、GIGAスクール端末PCを活用した学びの充実を図る。</p> <p>△小学校へ週1日4時間の教員派遣をもとに、各校相互の課題を理解するとともに、合議による具体的な連携を進める。</p>	<p>○国・数・英の3教科で先行的に単元テストの実施をはじめ、「生徒が自走して学ぶ・学び直せる支援体制づくり」に向けて各教科研究を進めた。</p> <p>□コロナ関連による出席停止生徒等へのGIGAスクール端末PCを活用した学びの支援や充実を図ることはできた。</p> <p>△主に授業観察等による学習支援及び生徒指導に関わる部会への参加を通して学校種間の相互理解をはじめ、小中接続に関わる短期的な課題解決に取り組むことができた。</p>	B	定期テストの在り方を見直した単元テストの実施や、個に応じた学び方への支援とその充実等に向けて組織的かつ計画的に研究を進める。長期欠席生徒へのオンライン授業に必要な機器の整備、体制づくりをはじめ、GIGAスクール端末PCを用いた授業及び自学習に対する支援の充実を図る。小中連携では接続に関わる系統的かつ具体的な連携の実施を進める。
開かれた学校づくり	<p>教育活動の効果的な情報発信に向けて、学校だよりや学年通信、学校ホームページの内容などを見直したり、教育活動のより一層の充実に向けて学校評価アンケートの質問内容などを更新したりする必要がある。また、コロナ禍及びコロナ後の地域と連携した教育活動の推進が必要である。</p>	<p>○より効果的な情報発信ができる体制を確立する。</p> <p>□より効果的な教育活動の検証ができる体制を確立する。</p> <p>△コロナ禍(コロナ後)に応じたPTAや地域と連携した教育活動の実施と充実に向けた準備を進める。</p>	<p>○学校ホームページを含め、学校だより、学年通信などの情報発信のねらいや対象をより明確にし、継続的かつ組織的な改善と充実を図る。</p> <p>□より学校の実態に即していたり、学校教育目標などの達成度が見えたりするなど、学校評価アンケートを改善した内容で実施する。</p> <p>△PTA、学校運営協議会を通して2年計画で保護者・地域と連携した、学校を核とした教育活動の充実に向けて、実施及び準備を進める。</p>	<p>○各情報発信のねらいと対象の明確化を図った。リアルタイムによるオンライン学校公開の実施によるコロナ禍による情報発信の工夫ができた。</p> <p>□学校評価アンケートの全面改訂を行い、生徒・教職員・保護者に学校教育目標や目指す学校及び生徒像を具現化した内容で実施することができた。</p> <p>△年間を通したPTAとの朝のあいさつ運動等の再開や町会や企業など地域の教育資源と連携した生徒との懇話会や講演会を実施することができた。</p>	B	各情報発信の内容の継続的な充実を図る。学校評価アンケートを年度当初より提示し、教職員・保護者が協働的に教育活動を進めると共に、生徒自身の体言化を進める。本年度の活動をもとに、改めてWithコロナにおけるPTA及び学校運営協議会との具体的な教育活動の連携、充実・発展に向けて協議・実施を進める。
教職員の資質向上	<p>より一層の教員一人一人の個性を生かした授業力の向上と、すべては子どもたちのためへとつながる働き方改革の推進が必要である。</p>	<p>○授業力向上のための学びあい・高めあいの充実を図る。</p> <p>□心身ともに健康な教育集団を作るために、勤務時間外の在校時間のタイムマネジメント強化を図る。</p>	<p>○共通テーマを設定し、相互の授業参観による意見交換や指導法の共有などを通して、授業力向上を図る。</p> <p>□本校の「働き方改革スタンダード」を作成し、その取り組みを通して一人一人のタイムマネジメントを強化するなど、具体的な組織的な業務改善を推進</p>	<p>○共通テーマとして「生徒が自走して学ぶ・学び直せる支援体制づくり」を設定し、各教科、全教職員で意見交換及び指導法の共有等を行い、授業力向上に努めた。</p> <p>□本校業務改善スタンダードの8つの改善策のうち、6つ以上は実施・改善し、機能して一定の成果を得ることができた。</p>	B	教職員が学び合う機会や場面を計画的に設定するほか、働き方改革に関わる校内研修を実施するなど、授業力向上と合わせて教職員の多面的かつ組織的な意識改革に取り組む。
施設・設備等の管理	<p>限られた予算の範囲で、継続的に生徒の安全面を優先した修繕・補修を行っていく必要がある。また、すべての生徒の最適な学びの実現に向けて、ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した教育環境の整備を引き続き進める必要がある。</p>	<p>○学校の実態に即した安全管理の体制づくりとその維持・徹底を図る。</p> <p>□UDに配慮した教育環境の整備を推進する。</p>	<p>○組織的な施設・設備の定期的な安全管理や教育活動の在り方について不断の見直しと改善を図るとともに、1年間を見通した修繕等の実施及び軽微な破損への迅速な対応を行う。</p> <p>□壁面掲示物の配置やICTを活用した授業での指示など、具体的なUDに配慮した教室環境の整備と授業に用いる設備等の充実・改善を推進する。</p>	<p>○生徒の安全・安心を第一に考え、不断の見直しを図りながら教育環境の維持、組織的な安全管理と計画的な修繕を行うことができた。</p> <p>□外部講師による校内研修を実施し、UDの視点を取り入れた授業改善を図るほか、教室等の学習環境の整備(教室前面掲示物の整理、連絡黒板へのカーテン取付)を進めることができた。</p>	A	今後も継続的に不断の見直しを図りながら生徒の安全面を優先した修繕・補修を計画的かつ迅速に行う。また、UDに配慮した授業改善を引き続き行っていくと共に、より一層の教育環境の整備・充実を図る

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和5年2月21日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・生徒への支援が素晴らしいと思いました。先生方に感謝です。結果はともかく、すぐには出ないと思いますが、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。	
・新しい取り組みにチャレンジして欲してほしい。支援策の可視化の推進や不登校生徒の個別の支援・対応を、今後も期待しています。	
・学校教育目標の達成に向けた先生方の取り組みに感謝します。コロナ対応など、教職員の皆様はよく対応していたと思います。	
・基礎学力の向上は、短期的課題解決・長期的課題解決の両面があると思います。小中連携の課題解決に向けて具体的に進めようとする姿勢に好感が持てました。	
・単元テストの取組に期待します。目標が明確になってよいと思います。小学校とも協力して一小一中ならではの取組としてほしいです。	
・一小一中のメリットを生かして欲しいです。	
・時代に合った方法積極的に取り入れてほしいと思います。	
・学校ホームページのより一層の充実を楽しみにしています。	
・今年度、一層地域連携の充実を進め、地域全体で子供たちを育てていけたらと思います。	
・今後の校外との関わり方やPTAの在り方など、多方面の意見を聞き、見直す時期にだと思えます。	
・夢ワークは再開してほしいです。地域との連携の強化を期待します。	
・町会長と生徒との懇話会はよいアイデアであり、続けてほしいと思います。	
・常に多忙な先生方の、学びの探求の時間のねん出が課題だと思います。先生方の心身の健康が第一です。そのうえでの学びの探求を期待しています。	
・先生方の心身の健康へのケアも大切だと思いました。	
・施設、設備等の管理に関して、問題はないと思います。	
・行政に対して各改善箇所の申請を積極的に行い、時には地元有力者などの協力を仰ぎ、環境改善をお願いしたい。	
・UDへの配慮が新しいと思いました。時代に合った変化をさせようという内容が伝わってきました。とても好感が持てました。頑張ってください。	